

氏名：馬場壮太郎

専門分野：地質学，岩石学，構造地質学

担当授業科目：基礎地学 I，基礎地学実験 II，環境地学，地学野外実習，自然環境フィールドワークなど

研究キーワード：大陸地殻，島弧地殻，高温～超高温変成作用，ルーシアン岩体，南極，付加体，変形変成作用，SHRIMP ジルコン U-Pb 年代

研究内容：主に大陸地域に分布する高温変成岩を対象として，1) 野外地質調査を実施し，岩石の産状を精査する，2) 岩石試料の構成鉱物の組み合わせやその化学組成に基づき形成条件や形成場を推定する，3) SHRIMP などの機器を用いて岩石の形成年代を測定する，以上の観察・実験結果に基づき大陸地殻の形成過程を考察しています．これまでに対象とした地域は，スコットランド北西に分布するルーシアン岩体，東南極の中央ドロニングモードランド，中国東部雲南省などです．



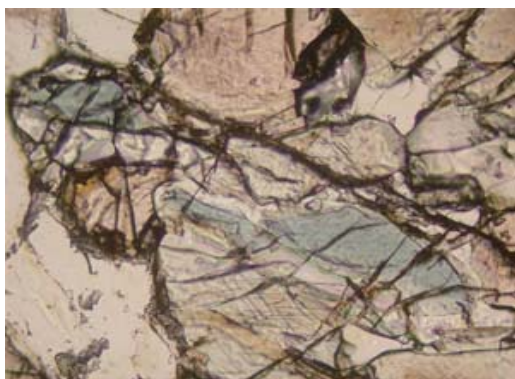
◁ ○ 東南極セールロンダーネ山地



○ ザクロ石グラニュライト



○ ルーシアン岩体 (サウスハリス)

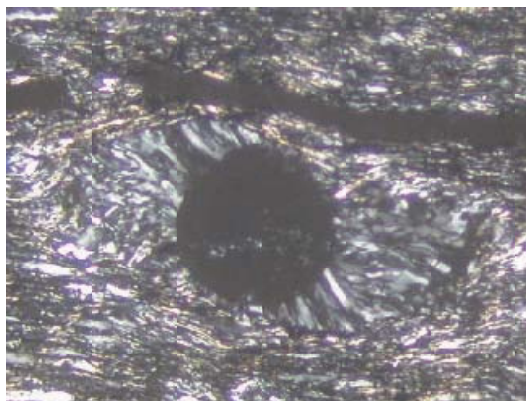


○ 変成鉱物の包有関係
(水色：サフィリン，
薄いピンク色：斜方輝石，
水色の周辺の透明：ザクロ石)

また、沖縄本島や周辺諸島に分布する先第三系基盤岩類についても構造地質学的見地から島弧地殻の形成過程を解明することを目的として研究を行っています。これまでに研究室に所属する学生と共同で沖縄本島北部、ケラマ諸島、石垣島於茂登岳などで研究を行いました。今後も研究を継続して行く予定です。



○ 沖縄本島北部に発達する褶曲



○ 千枚岩の薄片写真
(プレッシャーFRINGE)

琉球大学研究者データベース

<http://kenkyushadb.lab.u-ryukyu.ac.jp/profile/ja.sF8WxfS0z51KekNDw797Wg==.html>